

Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.11
2022.3

仙台白百合女子大学後援会



Contents

- | | | | |
|---|-----------------|---|-------------------------------|
| 2 | 学長挨拶
後援会会長挨拶 | 5 | 大学からの報告 |
| 3 | 部会活動報告 | 6 | 2022年度 行事予定
2021年度 理事名簿 など |
| 4 | 課外活動支援・事業部会支援 | | 編集後記 |
| 5 | 奨学支援 | | |



コロナ禍の教育

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生



2021年度になってもコロナウイルスに悩まされ続けられることを予想できた方は、どれくらいいるのでしょうか。本学では幸いにも年度初めから対面授業を行うことができました。大規模教室での授業が少ないこと、教職員が一体となって対応したこと、感染対策を繰り返し呼びかけたことなどが功を奏したのか、感染者や濃厚接触者が時々あらわれはしたものの、クラスターが発生することはありませんでした。それでも、入学式は学科ごとに4回、またその数週間前の学位授与式は午前午後計2回行うなど、通常と異なる対応を迫られて冷や汗の連続という日々が続きました。

そのような中、学生をサポートするために、後援会からの支援・援助を変わずにいただいたことに深く感謝申し上げます。奨学資金や勉学奨励資金は、学生の学びと成長を促す貴重なリソースとなっています。開催できなかった大学祭に代わる今年度独自の支援の形は、学生を盛り上げるための学科企画に対するスポンサーシップでした。行事が次々と中止になる中、学生同士が交流を行う良き糸口となりました。また、100円食堂へのご支援にも深く感謝いたします。

学生に対する支援の内容や方法は、後援会の理事会や部会にて検討するのですが、時節柄Zoomを併用しての会議となりました。音声不調がときどき起きてしまい、対面会議と

比べると隔靴搔痒の感はあったでしょうが、これも新時代の流れのひとつです。会を重ねるとトラブルが減って慣れてきたように思えます。遠方の方が参加できるというメリットもありました。キャンパスから遠隔の地の方々も気軽に出席できるというのは、今後の後援会のあり方を考える上で大切な要素になると思われます。

最後になりますが、2022年4月をもって成年年齢が18歳に引き下げられます。したがって、大学生は成人となり、大学生の保護者という考え方は成り立たなくなります。しかし、突然、行政的にそのように決められても、大学における学生指導がどのように変わるべきかはまだハッキリしていません。どの大学も模索中となります。今後、保護者は保証人と呼ばれるようになるのですが、保護者と保証人がどのように異なるのかは、大学が保証人との範囲で、どのように連絡を取るべきかについての合意形成がなされるには少々時間がかかると思われます。この点については、後援会の皆様のご意見もいただけたらと思っています。

人を真の成長に導く教育、それを学生・教職員・後援会の皆様と協働して実現したい、と願っています。

後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 金澤 晃一



仙台白百合女子大学学生保護者の皆様におかれましては、コロナ禍の後援会活動に対し、変わらぬご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

2020年1月16日に新型コロナウイルス感染症が日本国内で確認されてから、早や2年が経過し、コロナ禍は、女性の雇用に大きな被害をもたらしました。女性は、解雇・雇止めにあった後の非労働力化や非正規化が深刻で、2020年11月時点で再就職できた割合は、男性74.4%に対して女性は66.5%にとどまりました。

しかし、ピンチをチャンスにとらえるという視点からコロナショックは男女の雇用格差を縮める好機を秘めていてテレワークをはじめとする働き方改革の波は、女性にとって長期的に有利になるという見解もあります。

女性の就業状況は、量的な面では拡大してきているものの管理職割合が低く非正規雇用割合が高いなどの課題があり、女性の活躍には、ワーク・ライフ・バランスの確立が重要で、保育所定員割合や三世帯世帯割合の高い都道府県では正規雇用割合が高いというデータがあります。

全世界の願いであるコロナウイルスの収束、学生達は、従来の教育現場すなわち思い描いていた大学生活の復活を心から待ち望んでいます。

さて、仙台白百合女子大学の後援会ですが、東日本大震災が発生した2011年から復興の歩みと共に10年が経過致しました。保護者の皆様と大学教職員が一体となって、学生支援を中心に取り組んでまいりました。

昨年6月に会場、講演など全体を縮小しての総会を開催致しました。オンラインを含む多くの保護者の方々にご出席を頂き、すべての議案が承認されました。

しかし、一日縮小しての開催を予定していた白百合祭は、感染状況が収まらず2年連続で中止となり、これまでコロナ禍の開催に向けて、実行委員長中心に準備を進めてきた学生達にとっては、残念な結果となりました。

10月の理事会で、コロナ禍の学生達に思い出となる企画をという提案があり、大学と保護者理事で意見を取りまとめ「学生を元気付ける応援企画」の開催となりました。

それは、学科の学年を超えた交流を焦点に「学生を元気付ける学科企画」、大学生協さんの協力を頂いて「学生応援100円食堂」で、学生達の心が少しでも癒されればそして、今後の交流イベントの新しい発想につながっていけばと思います。

最後にお子様のご卒業を迎えた保護者の皆様には、心からお祝い申し上げます。また、コロナ禍の大学生活を自信に社会人としてのご活躍をお祈り申し上げます。

仙台白百合女子大学後援会は、保護者会員と大学教職員が「ワンチーム」で、学生達を応援し続けます。

これからもご理解とご協力また、積極的にご参加頂きます様よろしくごお願い申し上げます。

部会活動報告

第11回後援会総会 報告

2021年度後援会総会は、2021年6月19日（土）に開催いたしました。新型コロナウイルスの影響により教室での対面とZoomでのオンラインの同時開催となりました。はじめてのことではありましたが、大きなトラブルもなく終了することができました。

審議事項の2020年度事業報告、収支報告、監査報告、2021年度事業計画、収支予算、理事の選出については、すべて原案通りご承認いただくことができました。

ご協力いただきました会員の皆様、理事の皆様にご心より御礼申し上げます。

また、引き続き後援会活動にご理解とご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

(大学連携部会 堀籠 未来)

広報部会活動報告

広報部会は、後援会会報「shirayuri」の発刊を目標に活動しております。この会報は1年に1度発刊し、会員の皆様へお届けさせて頂いており、今年度で11回目の発刊になります。

会報「shirayuri」は、後援会の各部会の活動報告をはじめ、学生の皆さんからキャンパスライフの声を掲載することで、大学側、学生、保護者が少しでも情報を共有し相互関係の理解が深まることを願っております。

会員皆様のお声も載せていきたいと思っておりますので、掲載して欲しい記事や出来事がございましたら、是非とも、理事会にお声がけ下さい。今後も興味をもって頂けるような会報を目指していきたいと思ひます。

今年はコロナ禍ということもあり、打合せ等もLINE、メールやZoom等のツールを利用した準備となりました。対面で打合せが難しい中、多くの方にご協力頂いての活動となりました。ご協力を頂いた皆様に感謝致します。

(広報部会 今野 芳子)



大学連携部会活動報告

大学連携部会では、「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」の各支援事業を通じ、学生に対する支援活動を行っております。

「奨学支援」では、後援会からの援助金として大学に振込、大学奨学金と一体運用し、①経済的困難学生支援②東日本大震災授業料免除支援③学生奨励賞支援を行いました。

「課外活動支援」では、例年は白百合祭への支援を行うところですが、今年度も中止の為、代わりとして、食堂パターションの入替と、事業部会との合同企画「学生応援100円食堂」の支援を行いました。

「キャリア支援」では、①公務員試験対策講座②履歴書証明写真撮影③SPI試験対策講座の一部の支援を行い、各学科の授業活動の支援を行いました。

コロナ禍ではありますが、学生達の今しかない学校生活を有意義に過ごせるように、これからも部会と大学側との連携を深め、学生の支援を行ってまいります。

(大学連携部会 安彦 恵美子)

事業部会活動報告

本年度も新型コロナウイルスによる感染拡大状況を鑑み、大学行事として定例化されていた白百合祭は2年連続の中止となりました。

昨年から続くコロナ禍の生活様式変化により、学生同士の交流の機会が減少し、学生の孤立が不安視されていることが理事会で問題提起されました。

これを受け、大学側からご配慮とご協力をいただきまして白百合祭の代わりに学生を元気づける企画として、学科ごとの企画と、期間限定で学生応援100円食堂の支援をさせていただきました。

特に100円食堂はメニューも価格も大好評だったと聞き、利用している学生たちの笑顔が想像できてうれしかったです。

白百合祭参加のような直接的な活動支援とは形は変わりましたが、新しい生活様式下での学生支援の方法について考えるきっかけとなったと思ひます。

来年こそはコロナの終息と白百合祭の実施を切に願ひます。

(事業部会 副会長 後藤 昭子)

課外活動支援・事業部会支援

学生を元気づける企画に参加して

施設実習ではどんなことをするのか、どういった雰囲気のかなどを先輩方の施設実習についての発表で知ることができました。また私自身も、幼稚園実習の発表を行いました。自分たちがどんなことをしたか、どういった準備が実習前には必要か2年生に伝えることができたので良かったです。実習先で実際に使った保育教材をやってみせるということを発表の中でしたが、子どもの前でやるのとはまた違った緊張感がありました。こういった大人数の場で保育教材を披露するという事はなかなかないので貴重な体験をできて良かったです。また、先輩方の卒論発表を聞いたり、人形劇や演奏などを見れたり、多くの学びを得られる充実した1日でした。

(人間発達学科 鈴木 美美奈)



学生を元気づける企画に参加して

私たち健康栄養学科1年は、12月14日にクリスマスイベントでビンゴ大会を行いました。コロナ禍で大学祭など色々な行事がなくなってしまっていた中ビンゴ大会という楽しい行事を先生方や先輩方が開催してくださりました。限られた中での開催でしたが、1年生みんなが楽しく充実したクリスマスイベントを行うことができ、とても良い思い出が出来ました。景品としてハンドクリームを頂きました。嬉しく現在でも使用しています。その他にもパンを頂き、とても美味しかったです。このような、イベントではコロナ禍の中で味わうことが出来ない体験をさせて頂きました。来年度は、イベントが増えてみんなで盛り上げられるような行事が出来たら嬉しいです。

(健康栄養学科 室谷 すず)



学生を元気づける企画に参加して



私たちSFGは、「学生を元気づける企画」を企画し、ゲーム大会を行いました。新型コロナウイルスの影響で多くの学内行事が中止になったことから、学生や先生方に楽しんで頂けるイベントを考えたいと思い、企画しました。

企画と準備は、昨年の12月から始めました。2年生のメンバーを中心に企画を立案し、そこから準備に取り掛かりました。元々は、ボウリング大会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、急遽ゲーム大会を行いました。突然の変更は大変でしたが、協力して準備を進めました。当日はとても盛り上がり、学生と先生方の笑顔が見れて嬉しかったです。今後も、皆さんが笑顔になれるような企画を考えていきたいです。

(心理福祉学科 宮武 凜奈)

学生を元気づける企画に参加して

私はこの会に参加して、このような会に参加できたことへの喜びを感じることができ、先輩方に心から感謝したいと思いました。



新型コロナウイルスの影響でなかなか集まって交流をすることができず、寂しい思いもありました。そんな状況でも同じ学科の先輩方が感染対策もしつつ、私たち1年生が楽しめるように、様々な企画を考えてくださったことがとても嬉しかったです。

ビンゴ大会では、ビンゴになった人にみんなで「おめでとう！」と祝福し合い、改めてこの学科で良かったと感じました。

新型コロナウイルスがなかなか収束せず苦しい日々が続く大学生活に不安を抱いていた私たち1年生を励ましてくださった先輩方と先生方に感謝しています。

(グローバル・スタディーズ学科 遠藤 みなみ)

100円食堂を利用して



ラダでした。

今回、後援会からのご支援を受け学生応援として11日間にわたり食堂(ステラマリス)にて「100円食堂」を実施されました。メニューはご飯、味噌汁、チキンソースがけ、ビーンズサ

美味しいのはもちろん、ボリュームがあり栄養もしっかりと摂れてとても良い献立でした。たくさんの学生が期間中食堂ステラマリスで100円食堂を利用している様子がみられました。私自身も利用させていただいて楽しい食事になったと思います。最後に今回100円食堂の企画をしてくださった後援会の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

(健康栄養学科 白鳥 結希)

奨学支援

「幼保英語検定」受検料のご支援への感謝

後援会の皆様、日頃より私たち学生に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。この度は幼保英語検定(幼保英語士資格認定試験)の受検料の一部をご援助いただき、誠にありがとうございます。

私は、人間発達学科幼児教育コースに所属し、将来は幼稚園教諭になるために日々勉強に励んでいます。

現在日本では教育の分野でもグローバル化が進み、子どもへの英語教育の重要性が認識されています。子ども向け英会話教室や、英語の授業を導入する幼稚園が増え、英語教育の低年齢化が一層進んでいます。そうした子どもに教える者を対象に、実用英語の実力を計る資格試験として、幼保英語検定があります (<https://www.youhoeigo.com>)。

私たちが履修している「児童英語概論」の中で受検対策が行われており、日々勉強に取り組んでいます。授業で学んだことを活かし、私たちは2月後半に実施される幼保英語検定を受検する予定です。そこで必ず合格して、「幼保英語士資格証」を取得し、将来、幼児教育の現場で活かしていきたいと思えます。

改めまして、幼保英語検定の受検料の一部をご援助いただいたことに、心より感謝申し上げます。

(人間発達学科 荒 美祐)

後援会奨学金事業の御礼

この度は、仙台白百合女子大学後援会支援事業キャリア・チャレンジに採用していただき、誠にありがとうございます。

私は現在、心理学を学んでいますが将来的には金融業界に就職したいと考えています。そのため、就職活動において有利に働くと考えられる資格として、ファイナンシャルプランナーの資格を取得したいと考えていました。そうした中、後援会主催のキャリア・チャレンジ規格に後押しされ、去年ファイナンシャルプランナー3級の試験を受験し、無事合格致しました。今後さらにファイナンシャルプランナー2級の資格取得のため、勉学に励んでいきます。

最後になりましたが、本企画の対象として採用していただき、重ねてお礼申し上げます。

(心理福祉学科 一條 知世)

大学からの報告

学生支援

新型コロナウイルスの影響により今年度も「白百合祭」の開催を断念せざるを得ませんでした。また、昨年4月は緊急事態宣言のもと新入生へのウェルカムフェスティバルもオンラインでの開催となり学生たちの先輩・後輩の交流も難しい状況でありました。

10月の理事会で皆様からご意見をいただき、大学で「学生を元気付ける」企画を二つ計画し、理事会のご承認をいただきました。一つ目は、学生同士の学年を越えた交流に焦点を当てた学科企画、二つ目は大学生協の協力を得ながら「学生応援100円食堂」の実施です。

二つの企画とも大変好評で、本当に学生たちの明るく元気な表情を見ることができました。大学としても同様の企画を今後も継続して実施していきたいと思えますので、引き続きご支援・ご協力を賜りたいと存じます。

(事務局長 志田 昌幸)

補助金事業の御礼

日頃から後援会の皆様には、国家試験対策のご支援をしていただき誠にありがとうございます。

私たちは管理栄養士国家試験対策としまして、ESSモバイルを用いての勉強、学外講師による対策講座を行っております。ESSは通学時間や空いている時間にスマートフォン1つで過去問などに取り組めるため時間を有効活用しながら勉強をすすめることができました。

対策講座におきましては、基礎から丁寧に教えていただき、国家試験に向けて着実理解を深めていくことができました。

最後になりますが、改めてこのような貴重な機会をいただいた後援会の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも夢をもって勉強に励む後輩のためにも何卒ご支援よろしく願い致します。

(健康栄養学科 阿部 朱理)

後援会奨学金事業の御礼

私は今年度、TOEICと中国語検定の受験をしました。これらの資格取得は、私にとって勉強するモチベーションとなっており、合格できると自信にも繋がり、さらに上を目指そうという意識も高まりました。私が受講している中国語のクラスでは、半数以上の生徒が中検4級に挑戦し合格者も多数出ました。多くの学生が挑戦できたのは後援会の支援があったおかげです。このような資格は将来有効なものになると共に、自分のステータスを示す一つの基準ともなります。しかし、検定にかかる受験料は年々高騰しており、経済的な理由で受験を躊躇してしまう学生もいます。これからも後援会のご協力のもと、奨学奨励金補助を是非ともお願い致します。

(グローバル・スタディーズ学科 大宮 千夏)

キャリア支援

今年度のキャリア支援の報告をいたします。

- ①公務員試験対策講座：公務員を目指す学生のためにオンラインでの講座を実施しました。対象は全学科の1年～3年、21年8月10日～22年3月31日の視聴期間で全14コマ(120分×10回、150分×4回)。受講者112名
- ②SPI試験対策講座：企業の就職試験や最近では公務員試験でも用いられることが多いSPI試験の対策講座を実施しました。対象は全学科の1年～3年、21年12月20日～22年10月30日の視聴期間で全14コマ(90分×14回)。受講者69名
- ③履歴書用証明写真撮影：プロのカメラマンとメイクスタッフによる、就職活動で使用する証明写真の撮影を学内にて実施しました。参加者146名

(キャリアリソース課長 佐藤 啓朗)

2022年度 行事予定

前 期		
4月 4日 (月)	入学式 (本学講堂)	
4月 7日 (木)	白百合ウェルカム・フェスティバル	
4月 8日 (金)	前期授業開始日	
6月 18日 (土)	後援会総会 1・2年生保証人会	
6月 24日 (金)	修養会	
7月 29日 (金)	前期授業最終日	
後 期		
9月 19日 (月)	後期授業開始日	
10月 21日 (金)	白百合祭準備日	
10月 22日 (土)	白百合祭	
11月 5日 (土)	就職に関する保証人懇談会	
12月 20日 (火)	クリスマスミサ・学生会クリスマス会	
12月 26日 (月)	年内授業最終日	
1月 5日 (木)	授業再開	
1月 20日 (金)	後期授業終了日	
2月 24日 (金)	卒業判定結果掲示	
3月 16日 (木)	卒業感謝ミサ・同窓会入会式	
3月 17日 (金)	学位記授与式	



仙台白百合女子大学後援会 2021年度 理事名簿

氏 名	担当部会
会 長 金 澤 晃 一	事業部会長
副会長 大 地 久美子	広報部会副会長
副会長 関 陽 一	大学連携部会
監 事 今 野 芳 子	広報部会長
監 事 佐 藤 里 美	事業部会
理 事 安 彦 恵美子	大学連携部会副会長
理 事 後 藤 昭 子	事業部会副会長
理 事 小 山 裕 子	事業部会
理 事 小 田 中 しおり	大学連携部会
理 事 星 富美恵	広報部会
理 事 廣 瀬 純	大学連携部会長
理 事 千 田 耕 也	事業部会
理 事 青 木 豊	事業部会
理 事 鈿 持 陽 子	広報部会
理 事 佐々木 順 子	大学連携部会
理 事 相 原 裕 香	広報部会
理 事 秋 山 恵美子	広報部会
理 事 持 田 亜希子	事業部会
理 事 遠 藤 由紀子	大学連携部会
理 事 渡 邊 博 子	同窓会会長
理 事 矢 口 洋 生	学長
副会長 渡 邊 兼 行	大学連携部会/心理福祉学科長
理 事 三 浦 主 博	事業部会/学生部長
理 事 志 田 昌 幸	大学連携部会/事務局長
理 事 石 岡 宏 美	広報部会/事務局次長兼図書・地域貢献センター事務長
理 事 川 村 かほる	広報部会/学生課長
理 事 佐 藤 啓 朗	事業部会/キャリアリソース課長
理 事 堀 籠 未 来	大学連携部会/庶務課長

編集後記

早いもので年度末を迎える3月になり、後援会報も無事に発行することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今年度も新型コロナウイルスが猛威をふるい、医療、経済、福祉など様々な分野に影響を及ぼしました。大学においては5月中旬から対面授業が開始されましたが、開催予定の白百合祭は残念ながら2年連続の中止となりました。今年度は学生を元気づける企画として100円食堂の提供を行いました。後援会では、厳しい状況下の中、学生の就職支援・学生生活・勉学環境等をよりよく、安心・安全に学べるキャンパスを目指して運営されている大学を支援しています。今後も会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。(広報部会 大地 久美子)

仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局(庶務課)までご連絡願います。

検索 仙台白百合女子大学 後援会

仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

【目 的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境の整備充実のため

【使 途】 ① 教育・研究環境の整備
② 奨学資金の充実
経済的理由のため学業継続が困難である優秀な学生への支援
東日本大震災における被災学生の授業料減免支援
留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

検索 仙台白百合女子大学寄付金の募集

後援会より卒業生へ 記念品贈呈

卒業生の皆さまに記念品といたしまして「ふくさ」をプレゼントいたしました。



仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号
TEL: 022-372-3254
FAX: 022-375-4343
E-mail: kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp



この印刷物は、地産地消・輸送マイルージに配慮したライズインキを使用して印刷しています。